

令和6年度「#あおばな in 弘前高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年11月14日（木）14：30～16：00

○場所：県立弘前高等学校 第一体育館

○参加学生：第2学年 234名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①若者が挑戦できる環境づくりについて
- ②教員や医師不足の解消について
- ③インターネットやSNSとの向き合い方について
- ④若者の政治への興味・関心の喚起について
- ⑤子どもや高齢者の交流が生まれる地域の拠点や機会について
- ⑥ICTを活用した学びの充実について

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・たくさんチャンスがあった方が良く、チャレンジして失敗しても次の成功に繋がれば良い。トライアルをたくさんやれる環境は大事だと思う。若者のスタートアップを応援するような取組はどんどん実行していきたいので、たくさんチャレンジしてほしい。
- ・みんなは自己実現のために、今できることを一生懸命やって、将来の夢に向かって、思いっきりいろんなことに取り組んでほしい。
- ・これから進む社会やいろいろな場面で、答えを導き出す初動として、対話が重要。今日は対話そのものの価値や認め合うことの意味について理解してもらえたと思う。ぜひ今日の出来事を人生に生かしてほしい。

